

平成29年度事業実績報告の概要(小規模事業経営支援事業費補助金関係)

団体名: 北名古屋市商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価														
				目標①			目標②			得られた効果		ABCD評価				今後の展開・改善点等		備考
				指標	実績	達成率	指標	実績	達成率	総合評価	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	実施方法	
巡回・窓口相談指導事業	地区内商工業者を訪訪し、経営支援メニューの周知と施策の利用促進を図るとともに、多様化・専門化する事業者の経営課題に的確迅速に対応して、提案を重視した相談支援を目的とする。	・巡回窓口指導実企業数1390社(内、非会員365社) ・巡回窓口指導延件数3837件(内、非会員658社) ・課題解決提案件数48件 ・経営革新承認件数4件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 191.9%)	指標	課題解決提案件数 (達成度 120.0%)	巡回訪問による施策の周知や消費税軽減税率対策事業を活用しての専門家相談を基本としつつ、小規模事業者の経営課題を解決へと導くことができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	今後とも積極的に取り組み、小規模事業者の経営改善を図る。	
記帳継続指導	個人事業主等を対象に正しい記帳方法の指導と決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の自計化や計数管理による経営力の向上を図った。又、積極的にe-Taxに對する取り組みを援け申告業務の効率化に寄与することを目的とする。	・指導対象者数 230人 ・指導延日数 1048日 ・指導回数 4381回	小規模事業者	指標	記帳指導対象者 (達成度 102.2%)	指標	相談指導回数 (達成度 102.5%)	記帳指導職員6名の指導体制で記帳継続指導を実施した(指導対象者230人・指導回数4381件)。記帳担当者会議を定期的に開催し記帳指導の進捗状況等を把握するとともに相談指導における問題点の解決を図ることができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	会員の期待に応えるためにも職員間で連携して事業を実施する。	
講習会	小規模事業者が抱えている経営課題を解決するために、専門家や日本政策金融公庫などの関係機関と連携した相談事業を実施し、小規模事業者の経営資源の確保を積極的に支援することを目的とする。	講習会開催回数及び受講者数 集団 2回 169人 個人 41回 407人 計 44回 581人	小規模事業者	指標	講習会受講者 (達成度 89.9%)	指標	(達成度 %)	小規模事業者の経営課題の解決や知識の向上を図ることに伴い、経営資源の確保を支援することができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	小規模事業者の相談ニーズの多様化により専門家派遣が増加するなか、各関係機関との連携を深めながら講習会事業を実施する。	
地域振興	地域交流が減少するなか、地域振興に資するために、取引拡大等を前面に出すことなく、事業所間の交流の場を提供することにより、地域内取引の活性化と取引拡大に寄与することを目的とする。	・新春初詣懇談会 1回 78人 ・事業所親睦ボウリング大会 1回 69人 ・その他交流事業	中小・小規模会員事業所事業者	指標	参加者人数/参加事業所数 (達成度 79.5%)	指標	(達成度 %)	会員事業所の交流の場を提供し、親睦・情報交換等の促進を図ることができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	今後とも事業所間交流の場を提供出来るよう、事業を実施する。	
祭典	北名古屋市に定着した商工祭を開催することで、地域内の製品・商品を広く地域住民にPRし、地元商工業者の販売力の向上及び消費者の購買意欲の向上に努めて地域の活性化を図ることを目的とする。	第9回商工祭 日時 11月3日 場所 市健康ドーム 参加出店企業数 40企業 来場者 11,000人	地域の小規模企業を含む中小企業	指標	参加企業数 (達成度 100.0%)	指標	(達成度 %)	地域の小規模企業を含む商工業者へ効率的な広告宣伝の場を提供でき、事業者の販売促進及びPRIに寄与することができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	事業者、地域及び行政からの期待に応えるべく、安心・安全に努め、継続実施する。	
商店街・街づくり	夜間通行の安全確保、地域の良好な環境保全、商店街及び発展会等のゾーニングを目的に、街路灯の状況を的確に把握し、適正設置管理と夜間点灯確認の支援を目的とする。	夜間点灯確認調査 30年1月29日実施	地元管理団体	指標	街路灯設置状況調査 (達成度 100.0%)	指標	(達成度 %)	夜間通行の安全確保、地域の良好な環境保全、商店街及び発展会等のゾーニングを支援することができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	今後とも老朽化が進む街路灯の点検をすることで、建て替え等について行政と地元管理団体との連携を側面的に支援する。	
産業活性化	北名古屋市地域の商工業の実態を効果的に地域内外の方へ紹介し、地元企業のPRや取引拡大に繋げることを目的とする。	北名古屋市役所西庁舎・東庁舎展示ケース設置による、企業PRや商品等の紹介 展示企業数 延10件 実企業数10件	地域の小規模企業を含む小企業	指標	展示企業数 (達成度 100.0%)	指標	(達成度 %)	北名古屋市内企業PRと特産品の紹介により住民(消費者)への理解を深めるとともに、来庁舎へのPR効果により商工業者の育成と地域振興及び発展を図ることができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	施設管理であるため、しっかりと維持管理を継続し、展示品の入れ替えを推奨する。	
情報化推進	経営資源の脆弱な小規模事業者にとって有益な最新の経営情報等を手入し適時に提供するとともに、商工業の活性化や取引拡大に寄与することを目的とする。	商工会ホームページを公開し、商工会事業や施策等最新の経営情報を提供し、各種制度施策の普及及び利用促進を図った。 ・ページビュー数 6,191アクセス	地域の小規模企業を含む小企業等	指標	トップページアクセス数 (達成度 123.8%)	指標	(達成度 %)	商工会事業や商工業施策の最新情報の効率的なPRと会員事業所のビジネスチャンスの拡大に寄与することができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	事業の実施案内、報告等に活用し、事業者への利用を促進する。	
経営強化(講演会・講習会事業)	外国人の増加に伴い北名古屋で事業を営む商工業者において外国人労働者・顧客とのコミュニケーションが必要となる場が増えている。そんな中、英会話教室を開講し外国人とのコミュニケーション能力の向上を図るとともに、経営の一助となることを目的とする。	英会話教室の開講 ・受講者 7名 ・年間31回開講(毎週月曜日70分/1回) ・イギリス人講師担当	会員及び家族、会員事業所の従業員等	指標	受講者数 (達成度 87.5%)	指標	(達成度 %)	英会話教室を受講することで、日常的に英会話に触れ、仕事上においてコミュニケーション能力の向上を図るとともに、事業者の経営の安定を図ることができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	受講者が7名で定着している状況で目標は現状にあわせる。また、内容についても現行を維持する。	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

平成29年度事業実績報告の概要(小規模事業経営支援事業費補助金関係)

団体名: 北名古屋市商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価															
				目標①			目標②			得られた効果		ABCD評価				今後の展開・改善点等		備考	
				指標	実績数値		指標	実績数値		総合評価	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	実施方法		
経営強化(商談会事業)	北名古屋市内にある企業の高い生産力及び技術力を紹介することによる販路開拓、人脈形成、人材確保などのために「メッセナゴヤ2017」に出展、ビジネスチャンスの機会創出をバックアップし、地域経済の活性化を図った。また、企業経営者と行政との交流や情報交換の場を提供することで、地域経済の活性化に寄与することを目的とする。	①官民交歓会事業「企業トップと市長との意見交換会」3企業 ②官民交歓会事業「経営講演会、企業経営者と行政との交流会」34企業 ③販路開拓サポート事業「メッセナゴヤ2017」出展 4企業	地区内の中・小規模会員事業者	指標	官民交歓会参加企業数 (達成度 148.0%)		指標	展示会出展企業数 (達成度 100.0%)											経営講演会・交歓会を実施することで経済動向等さまざまな情報交換ができ、また、商談会・展示会に出展することで、技術協力や契約締結など新たなビジネスチャンスの創出を支援でき、地域の活性化に寄与することができた。
目標数値	25	実績数値	37	目標数値	4	実績数値	4	目標数値	4	実績数値	4			A	調査結果	A		現状維持	
調査広報	商工会活動のPRや、中小・小規模事業者関連施策の利用促進、制度の普及推進を実施するために広報活動を行うことを目的とする。	(5月)持続化補助金説明会案内、防災減災事業所募集 (7月)一日公開催し案内、消費税軽減税率対応窓口周知、ハローワーク人材確保対策コーナー広告 (9月)あいち産業振興機構セミナー案内 (1月)創業支援セミナー案内、パワコン教室ご案内 (3月)設備貸与制度周知	会員事業所及び地区内の小規模事業者	指標	施策等掲載会報発行数 (達成度 100.0%)		指標	(達成度 %)		適時適切に事業や施策を周知することで、小規模事業者の情報収集機会の増大を図ることができた。		総合評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	現状どおり
目標数値	6	実績数値	6	目標数値		実績数値		目標数値		実績数値				A	調査結果	A		現状維持	現状どおりの発行を続けながら、小規模事業者への情報提供を図る。
雇用促進	就職条件に有利となる資格である珠算能力の証明をするために、検定試験を実施し、雇用促進の一助とすることを目的とする。	検定試験を開催。 ・6月18日(日)受験者 59人 ・9月17日(日)受験者 36人 ・11月19日(日)受験者 56人 ・2月18日(日)受験者 62人 合計213人	地区内の愛知県商工珠算協議会会員	指標	検定受験者数 (達成度 118.3%)		指標	(達成度 %)		権威ある検定試験を実施することで、受験者の学習意欲の向上と珠算能力の証明を図ることができた。		総合評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	これからも同水準以上の受験者数があるように珠算教室へ周知を図る。
目標数値	180	実績数値	213	目標数値		実績数値		目標数値		実績数値				A	調査結果	A		現状維持	
青年部	消費増税、国の施策等、経営環境が激しく変化する中、事業の持続的発展や事業継承問題が懸念される若手経営者・後継者等に、経営に関する新たな知識の習得や情報交換の場を提供するために様々な事業を実施する必要性が高い。また、その事業を事業者自ら企画・運営することで個々の事業者の成長に繋げる。さらに地域のイベントに参加・協力し、商工業に関わる者としての資質の向上を図り、地域社会の発展に寄与する事を目的とする。	①通常総会1回 ②常任委員会11回 ③委員会12回 ④視察研修1回(18人) ⑤組織強化事業(56人) ⑦地域振興事業(北名古屋主催地域イベント協賛他)(80人) ⑧商工業振興事業(商工祭協賛他)(23人) ⑨広報活動等	青年部員	指標	事業参加人数(延べ) (達成度 118.0%)		指標	(達成度 %)		若手経営者・後継者等に対し、経営に関する知識習得や情報交換の場を提供することが出来た。また、様々な事業を計画し実行することで、事業者としての資質向上に繋ぐことができた。		総合評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	今後若手経営者・後継者の知識習得や情報交換の場を提供し、事業者としての資質向上に繋げる。
目標数値	150	実績数値	177	目標数値		実績数値		目標数値		実績数値				A	調査結果	A		下げる	
女性部	厳しい経営環境が続く中、事業の継続や事業継承が懸念される中、女性経営者・従事者に、経営知識を深く高めるための勉強会や経営に関する情報交換の場の提供が必要であり、商工業にかかわる者としての資質の向上を図ることを目的とする。また、地域のイベントに参加協力することで地域社会の発展に寄与することも併せて目的とする。	①通常総会1回 ②常任委員会6回 ③講習会1回(34人) ④サロンひまわり6回(こぎふリタゴ作り他) ⑤東祭りパザ参加(50人) ⑥商工祭(27人) ⑦部員交流会(一泊研修)(22人) ⑧親睦会 ⑨ボウリング大会 ⑩ボランティア活動(毎月第二水曜 年9回) ⑪健康体操クラブ(毎週火曜日)等	女性部員	指標	講習会・事業等参加人数 (達成度 88.7%)		指標	(達成度 %)		女性経営者や従事者に、経営に関する情報交換の場の提供や経営知識を深く高めるための勉強会等を重点的に実施することが出来た。特に商工業にかかわる者として資質の向上に積極的に参加協力することで地域社会の発展に寄与することができた。		総合評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	地域のイベントに参加協力することで地域社会の発展に寄与すること、経営知識を深く高めるための勉強会等を重点的に実施することを恒例にする。
目標数値	150	実績数値	133	目標数値		実績数値		目標数値		実績数値				B	調査結果	A		現状維持	
福利厚生事業(共済事業)	小規模事業者の経営基盤の安定を図り、従業員の福利厚生の充実の一助となる各種共済等制度の普及・推進を目的とする。	中小企業共済や小規模企業共済を中心に加入推進を行った。 ・中小企業共済加入(増口)口数 71口 ・小規模企業共済加入(増口)口数 26口	地区内小規模事業者及び事業従事者等	指標	中小企業共済口数 (達成度 101.4%)		指標	小規模企業共済口数 (達成度 130.0%)		共済の普及活動したことにより小規模事業者の税務対策等経営基盤の安定と従業員福利厚生の充実をさせることができた。		総合評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	今後も加入推進等に取り組み小規模事業者の経営基盤の安定と福利厚生費の充実の一助となるよう対応する。
目標数値	70	実績数値	71	目標数値	20	実績数値	26	目標数値	20	実績数値	26			A	調査結果	A		現状維持	
福利厚生事業(健康普及事業)	現在、職場における健康診断の実施状況は、中小企業においては労働衛生に関する意識が必ずしも十分ではない健康診断の実施率においても大企業と比べ低調である。このような状況を少しでも改善するため定期的な健康診断を商工会で実施することで、労働安全衛生法第66条に基づき「事業主は労働者に対して、医師による健康診断を実施しなければならないこと」の周知と認識を持たせることを目的とする。	商工会に健診バスを手配し特定検診、一般検診を行った。 ・9月6日(水)受診者127名 ・9月7日(木)受診者104名 ・9月13日(水)受診者120名 ・9月14日(木)受診者69名	地区内小規模事業者及び事業従事者等	指標	受診者数 (達成度 91.3%)		指標	(達成度 %)		・労働安全衛生法「事業主に対しての定期健康診断の認識」について周知ができた。 ・生活習慣病の予防の認識、健康の保持増進の再認識をすることができた。		総合評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	毎回、健康診断の実施とともに保健所職員による食生活等の実態アンケート実施を通して、今後も行政と連携を進める。協会けんぽ加入者を対象とした一般健診を合わせて実施する。
目標数値	460	実績数値	420	目標数値		実績数値		目標数値		実績数値				B	調査結果	A		現状維持	
				目標数値		実績数値		目標数値		実績数値						A		変更する	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

平成29年度事業実績報告の概要(小規模事業経営支援事業費補助金関係)

団体名: 北名古屋市商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価																
				目標①			目標②			得られた効果		ABCD評価				今後の展開・改善点等		備考		
労働保険事業	中小企業の労働保険事務委託を受けて、事業主(または担当者)が行わなければならない労働保険料の申告納付その他労働保険に関する各種の届出等の事務手続きを事務組合が実施することにより、中小企業主の事務処理負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な取組を図ることを目的とする。さらなる未加入事業者の加入促進を行なうことも目的とする。	労働保険事務組合に加入している事業所について、労働保険事務を受託し、労働保険未加入事業所には、労働保険の加入の意義を説明し、加入促進を行った。 ・受託事業所数 217事業所	市内中小・小規模委託事業所及び未加入の商工会員、非会員、新規事業所	指標	受託事業場数 (達成度 90.4 %)			指標	(達成度 %)			建設業の事業事業者から労働保険制度への理解が増した事で労働保険加入の必要性によって加入手続きを増やすことができた。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	満足度		補足	目標
				目標数値	240	実績数値	217	目標数値		実績数値						調査結果	A	A		下げる
青色申告会・法人会	税務支援団体としての青色申告会・法人会の支部事業運営をサポートし、税務知識及び納税意識の向上を図り、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展の一助となり、地域商工業の活性化に資することを目的とする。	①会報誌の配布(青色申告会:6回、法人会:5回) ②講習会研修会等の開催(法人会:2回) ③広報活動及び会員加入促進 ④本部事業等の参加並びに連絡業務	地域内の個人青色申告会員及び法人会員	指標	会報誌配布回数 (達成度 110.0 %)			指標	講演会研修会等の開催 (達成度 100.0 %)			個人事業者の青色申告制度の普及推進や企業経営者に対する積極的な自己啓発を支援することにより、地域商工業者の納税意識の向上と健全な発展を図ることができた。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	満足度	補足	目標	個人事業者の青色申告制度の普及推進や企業経営者に対する積極的な自己啓発を支援することにより、地域商工業者の納税意識の向上と健全な発展に寄与する。
				目標数値	10	実績数値	11	目標数値	2	実績数値	2					調査結果	A	A		
産業団体等指導事業	地域の小規模な事業者を集め組合等を組織し、販促イベント、ポイントカード等の発行を通じて顧客の囲い込みを行うなど、周辺への流出を防ぐための活動を支援し、地域商業活性化へ寄与することを目的とする。	①北名古屋市カード事業協同組合活動サポート 8回 ②西春駅前商店街協同組合活動サポート 1回	北名古屋市カード事業協同組合員、西春駅前商店街協同組合員	指標	組合等運営会議数 (達成度 90.0 %)			指標	(達成度 %)			各組合の事業活動をサポートすることにより、組合員等の事務的な負担を軽減し、販促イベント、ポイントカード事業等の運営が円滑かつ効率的に実施することができた。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	満足度	補足	目標	今後も、効率的な事業運営に努める。
				目標数値	10	実績数値	9	目標数値		実績数値						調査結果	A	B		
産業活性化(北名古屋市交流支援事業)	北名古屋市と同市交流都市(旭川市、東松島市、妙高市、大桑村、多治見市、南さつま市他)において、互いの市で開催される催事への参加や情報交換事業を実施することで、事業者及び市民・行政間の相互交流を促進することを目的とする。	①交流都市先において開催された催事への出席参加及び視察 H29.9.16~18「北の恵み 食べマルシェ2017」参加事業 ②北名古屋市と同市交流都市の関係者による交歓会の開催 H29.11.22開催 北名古屋交流都市交歓会事業	地区内の中小・小規模事業者、市関係者	指標	催事参加・事業開催数 (達成度 100.0 %)			指標	(達成度 %)			事業を通じて地域振興事業の発展に繋げるとともに、産業等地域間交流の推進を図ることができた。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	満足度	補足	目標	引き続き行政担当課と綿密な連携連絡を取りながら事業を推進する。
				目標数値	2	実績数値	2	目標数値		実績数値						調査結果	A	A		
伴走型小規模事業者支援推進事業	小規模事業者の持続的な発展を図ることを目的に、経営状況の分析や事業計画の策定・実施、及び販路開拓などに係わる伴走型の支援を行うことを目的とする。	・講習会(事業計画策定セミナー)の開催 2回 ・個別相談会(事業計画策定相談会)の開催 2回	小規模事業者	指標	講習会の開催 (達成度 66.7 %)			指標	個別相談会の開催 (達成度 25.0 %)			セミナー・相談会の開催によって、事業計画の必要性を知らしめる啓発となるとともに、計画策定及び計画の実行により、売上・利益、そして付加価値の向上等を図ることができた。	総合評価	B	事業実施評価の	自己評価	満足度	補足	目標	講習会及び個別相談会とも収員効率化を図る方針とする。
				目標数値	3	実績数値	2	目標数値	8	実績数値	2					調査結果	C	A		
若手後継者等育成事業	現在、厳しい経営環境に加え、事業継続や事業承継が懸念される若手経営者・後継者、従事者には、経営知識の習得や、情報交換の場があまりに少ない。そこで、経営知識を深めるための講習会等を重点的に実施する。また、指導者としての資質向上のために、他団体の活動報告等を拝聴し情報交換を行う事ができる研修へ参加する。この事業を通して、商工業に関わる者としての資質向上を図ることを目的とし、延いては、地域の商工業の発展に繋がっている事を旨とする。	・若手経営者・後継者向け経営講習会(青年部2回:33人、女性部1回38人) ・指導者資質向上対策事業(全国大会参加:青年部)1回2人 ・アンケート調査結果 回答数 66件 満足した参加者 64名 64/66=97%	青年部・女性部員	指標	満足した参加者(%) (達成度 121.3 %)			指標	事業参加者数(延べ) (達成度 121.7 %)			経営講習会を開催し、若手後継者・経営者、女性従事者にとって必要な知識を習得することが出来た。また、全国大会に参加することで、指導者としての資質向上に繋ぐことができた。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	満足度	補足	目標	今後も、若手後継者・経営者、女性従事者等の資質向上に繋がるよう、内容を精査しながら、事業を実施する。
				目標数値	80	実績数値	97	目標数値	60	実績数値	73					調査結果	A	A		

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。